

佐賀県唐津市 & 早稲田大学 地域連携ワークショップ° 2021

地域連携ワークショップとは

まちづくり、地域ブランド、移住定住、観光・自治体が抱える課題の解決策を、学生チームが提案する実践型ワークショップです。学部・学年を超えて集まった学生同士が議論しながら仮説を立て、自治体関係者や住民の方々へのヒアリングなどを通して提案につなげます。地域の魅力を知り、課題を深く考え、仲間と協働することは成長の機会になります。

テーマ

地域資源のポテンシャルを引き出すための施策とは？ ～「肥前名護屋城跡・陣跡」のファンを創出せよ！～

2065年、唐津市の人口は半減し、高齢化率は35.5%に達するものと推計されています。このような中、地域が有する強みや持ち味を活かし、自律的で持続的な社会の創生を目指して、「唐津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。本市は、地域資源の輝きが生み出す「ひとの流れ」の創生に向けて、観光地域づくりの推進を重点的に取り組んでいます。

観光地域づくりを推進するうえで、交流人口や関係人口を拡大させ、地域のファンを創出することが重要であり、新型コロナウイルス感染症をはじめとしたさまざまな要因によって変化する新たな旅のスタイルやトレンドを組み込みながら、本市だけの地域資源や地域力に磨きをかけ、価値を高めていくことが求められています。

今回のワークショップでは、本市の地域資源である「肥前名護屋城跡・陣跡」をテーマに設定し、地域住民や団体、自治体等に対するオンラインインタビュー等を通じて（現地でのフィールドワークは実施しません）現状について知り、最終的に学生目線で市に対して具体的な提案をしていただきます。

唐津市の魅力

本市は、佐賀県北西部の位置にあり、古来より大陸との交流窓口として発展してきた経緯があり、「肥前名護屋城跡」などの歴史遺産、「唐津くんち」をはじめとした伝統的な祭りや「唐津焼」などに代表される多彩な文化、風光明媚な海・山・川に恵まれた美しい景色、美味しい海の幸「呼子のイカ」など数多くの地域の宝があります。



肥前名護屋城跡・陣跡とは？

名護屋城は天正19年（1591年）10月から九州の諸大名が分担して築き、わずか半年ほどで完成させたと言われています。江戸時代初めに廃城となったため、現在建物は残されていないものの、豊臣秀吉が滞在した名護屋城跡や約150か所に及ぶ大名の陣跡は、桃山時代を代表する城郭遺跡として、また当時における政治・経済・文化の中心地として歴史上重要な位置付けをもつ遺跡と高く評価されており、名護屋城跡と23か所の陣跡は特別史跡に指定されています。



募集概要 ※募集期間を延長しました (6/16 18:00)

募集期間	2021年6月7日(月)～ 6月21日(月) 12:00 6月18日(金) 17:00 [期間厳守]
募集対象	早稲田大学に所属する正規学部生・大学院生(修士課程)(学部、専攻、学年問わず)
活動期間	2021年7月12日(月)～2021年8月31日(水)
応募条件	全ての公式日程への参加が可能なこと
募集人数	10名程度
応募方法	<p>以下の手順もしくは右のQRコードのリンク先から申請してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① MyWASEDA にログイン ② お知らせ一覧から「地域連携ワークショップ 2021 夏編」を検索 ③ 「地域連携ワークショップ 2021 夏編応募フォーム」から「申請」をクリック ④ 必要事項(志望理由 400字程度)を入力して申請 <div style="text-align: right;">  申請フォーム URL </div>
選考方法	<p>書類選考：結果通知は2021年6月29日(火) 17:00までにWasedaメールにて通知します。 ※オンライン面接を実施することがあります。その際は書類選考合格者に別途案内します。</p>
注意事項	<ol style="list-style-type: none"> ① 当ワークショップは一般授業とは扱いが異なります。成績評価・単位認定等はありません。 ② オンラインでミーティングやインタビューを実施する際に必要な端末の購入費、通信費などは参加者による実費負担です。 ③ 募集要項に記載されている日程以外にも、自主的にミーティングやグループワークを実施する機会が多く、期間中は当ワークショップの活動が中心となるよう、スケジュール管理はくれぐれも注意してください。 ④ ワorkshop実施日と重複する集中科目等を欠席した場合、公欠扱いとはなりません。 ⑤ ワorkshop参加にあたっては「公共の場所では参加しない」「ヘッドセットなどを装着する」など、第三者に実習内容を知られることがないよう措置を講じてください。 ⑥ 選考結果に関する問い合わせにはお答えいたしかねます。あらかじめご了承ください。 ⑦ 【重要】当ワークショップに応募する場合、同時期に実施されるプロフェSSIONALS・ワークショップへの応募はできません。事前に各ワークショップの特色などをご確認の上、応募してください。 ⑧ 当ワークショップは、グローバルエデュケーションセンター実践型教育プログラム「地域連携実践コース」の対象プログラムです。
問合せ先	<p>教務部教育連携課 (rbso@list.waseda.jp) ※問い合わせの際には、件名のほか所属学部／研究科、学年、氏名を必ずメール本文に含めてください。</p>

実施の流れ ※当ワークショップは原則として、web 会議システム Zoom などを用いたオンラインによる実施となります。

- オリエンテーション：自治体の方から課題(テーマ)やその背景を聞く
 - ↓
 - 事前調査：
 - 課題に対する仮説設定。提案の方向性をまとめる。
 - どのような方にインタビューしたいのか、どのような質問をしたいのかリスト化
 - ↓
 - インタビュー：自治体関係者、地域住民へのオンラインインタビュー
 - ↓
 - 最終提案資料作成：
 - インタビュー結果を踏まえ、仮説を検証し、最終提案資料をまとめる
 - ↓
 - 最終報告会：自治体関係者、地域住民を前にプレゼンテーション
- 学生同士で時間を決め Zoom、SNS 等を用いて議論を進める

ワークショップスケジュール

	予 定	日 程	内 容
①	オリエンテーション (Zoom)	7月12日(月) 16:30~18:30	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者顔合わせ ・自治体担当者からの説明 ・課題および課題設定に至った背景の説明 ・今後のスケジュール確認
②	事前調査期間	7月13日(火)～ 7月26日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・事前調査を行い、課題に対する仮説を立てる ・この期間中に自治体担当者との懇談 (Zoom) を実施予定 ・現地のヒアリング希望先 (個人、団体、企業など) を検討し、7月26日までに「ヒアリング希望先のリスト」を自治体に提出
③	ヒアリング準備	7月27日(火)～ 7月30日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・(自治体) ヒアリング先の調整 ・(学生) ヒアリング先への質問内容を検討 ※7月30日までに「質問リスト」を自治体に提出
④	ヒアリング (Zoom)	8月2日(月)～ 8月6日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・事前調査で検討した仮説に対する検証を行う ※ヒアリング先のご都合に応じて実施時間は流動的となるため、左記の日程はスケジュールを空けておくよう to してください。
⑤	市長懇談・ヒアリング (Zoom)	8月2日(月) 14:00～14:30	<p>市長との懇談・ヒアリング</p> <p>※首長に直接お話を伺える貴重な機会ですので、出席できるように予定を調整してください。</p>
⑥	中間報告会 (Zoom)	8月17日(火) 14:00～16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリング、懇談などをふまえた提案内容の報告 ・自治体担当者、大学職員が参加予定
⑦	最終報告会準備・ 追加調査期間	8月18日(水)～ 8月30日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・中間報告会でのフィードバック等をふまえた提案のブラッシュアップ ・提案の再検証 (必要に応じて追加のヒアリングを実施) ・最終報告会に向けてのプレ報告会を実施予定
⑧	最終報告会 (Zoom)	8月31日(火) 14:00～16:00*	<ul style="list-style-type: none"> ・市長、自治体関係者の方々に向けて提案を発表 (約2時間) *最終報告会終了後、学生と大学職員との振り返り会 (1時間程度) を実施するため、解散時刻は17:00頃となります。

※上記以外の日程は、必要に応じて参加学生同士で相談し、自主的に集まる日程やオンラインでの会議等のスケジュールを決め、ワークショップを進めていきます。